

FY19 2Q 決算説明資料

2019年10月31日
東京特殊電線株式会社

目次

1. サマリー	P.02
2. 配当金及び業績予想	P.08
3. 参考資料	P.10

① 損益計算書

(百万円)	FY18 2Q	FY19 2Q	増 減	増減率	増減要因
売上高	9,517	8,602	▲915	▲9.6%	売上原価率 前年同期比 ▲0.8pt (76.0%→75.2%) 過年度に発生した連結子会社での類焼による影響が解消された事、また、フィリピン新工場の本格稼働等により原価率が低下となった。 法人税 +72百万円 (▲251百万円→▲178百万円) 法人税等調整額 +9百万円 (11百万円→20百万円)
売上原価	7,237	6,469	▲767	▲10.6%	
売上総利益	2,280	2,132	▲147	▲6.5%	
販売費及び一般管理費	1,147	1,143	▲4	▲0.4%	
営業利益	1,132	989	▲143	▲12.7%	
(%)	11.9	11.5	▲0.4pt	— %	
経常利益	1,176	1,002	▲174	▲14.8%	
(%)	12.4	11.7	▲0.7pt	— %	
税金等調整前当期純利益	1,238	953	▲285	▲23.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	944	772	▲171	▲18.2%	
(%)	9.9	9.0	▲0.9pt	— %	

② 売上高（連結）

- ・ 売上高は8,602百万円となり、前年同期比▲915百万円（▲9.6%）の減収となった。
- ・ 売上高増減に含まれる為替換算による影響額 ▲137百万円
（分野別：電線、ヒータ分野 ▲77百万円、デバイス分野 ▲60百万円）

構成比

65%

電線、ヒータ分野

自動車向けシート用ヒータ線は堅調な推移となったが、鉄道ケーブル、パソコン等の電源トランスに使用される三層絶縁電線の減収、また、半導体関連の需要減少等により、前年同期比▲481百万円（▲7.9%）の5,581百万円となった。

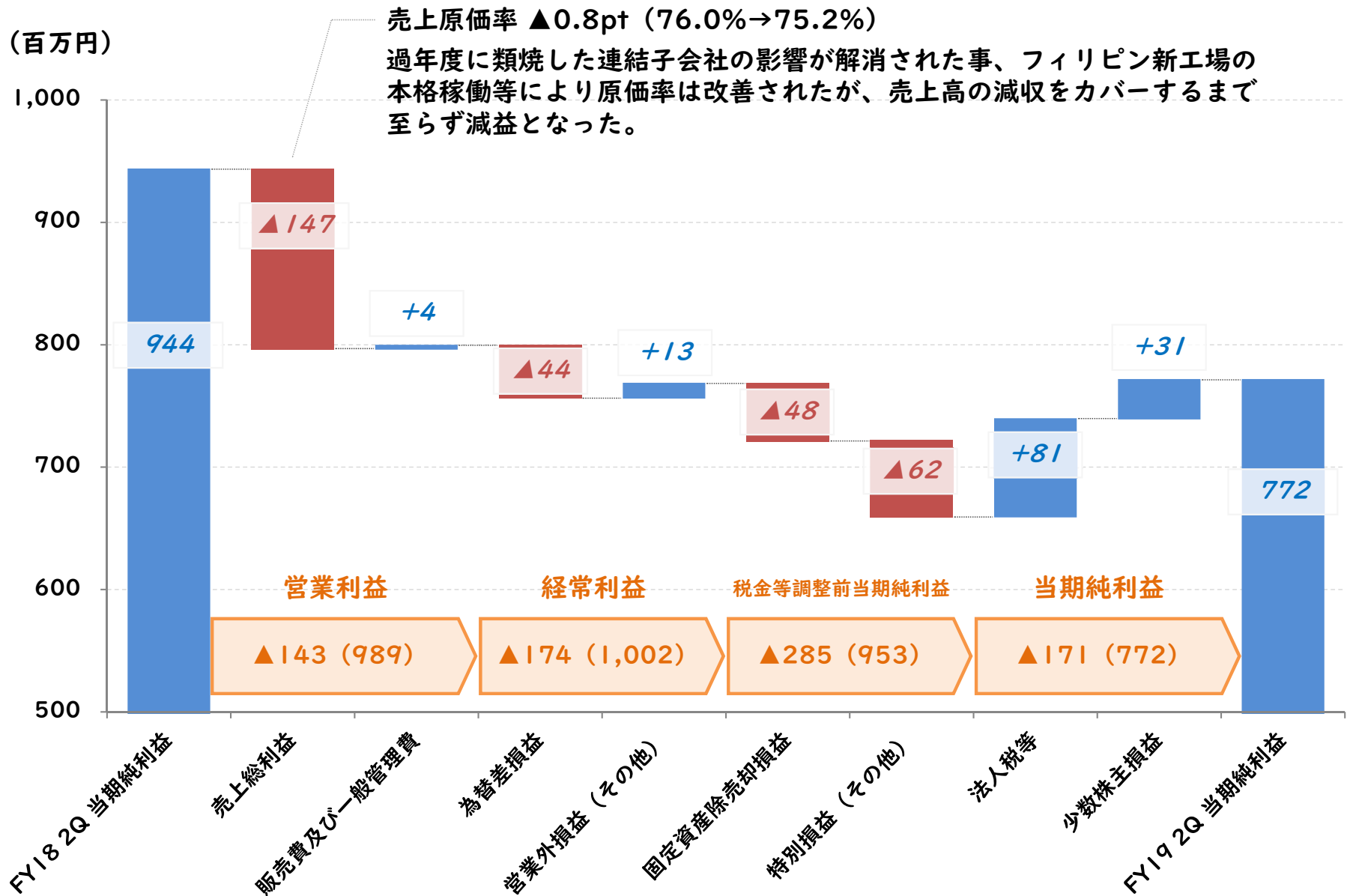
34%

デバイス分野

スマートフォンのカメラモジュール用途のサスペンションワイヤは堅調となったが、前年同期で好調であった基板導通検査治具用のコンタクトプローブが不調、また、米中貿易摩擦により中国子会社の焼付線が減収となり、前年同期比▲424百万円（▲12.5%）の2,957百万円となった。

(百万円)	FY18 2Q	FY19 2Q	増 減	増減率
売上高（連結）	9,517	8,602	▲915	▲9.6%
電線、ヒータ分野	6,063	5,581	▲481	▲7.9%
デバイス分野	3,381	2,957	▲424	▲12.5%
その他分野	72	63	▲9	▲13.6%

③ 親会社株主に帰属する当期純利益変動要因（前年同期比）



※ 括弧内は実績、少数株主損益：非支配株主に帰属する当期純利益、当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

④ 営業利益（連結）

- ・ 営業利益は989百万円となり、前年同期比▲143百万円（▲12.7%）の減収となった。
- ・ 営業利益増減に含まれる為替換算による影響額 ▲5百万円
（分野別：電線、ヒータ分野 ▲2百万円、デバイス分野 ▲2百万円）

構成比（%）

71%

電線、ヒータ分野

自動車向けシート用ヒータ線が堅調に推移した事や主要原材料である銅価格の低下に伴う利益の積み上げがあった一方で、売上高での減収が大きく影響し、前年同期比▲198百万円（▲22.0%）の701百万円となった。

37%

デバイス分野

本体のコンタクトプローブ、中国子会社の焼付線で減益となったものの、過年度に類焼した連結子会社の影響額が解消された事により前年同期比+119百万円の増益効果となった事及び、フィリピン新工場の本格稼働により操業が安定した事に伴う原価率の改善等により、前年同期比+63百万円（+21.3%）の362百万円となった。

（百万円）	FY18 2Q	FY19 2Q	増 減	増減率
営業利益（連結）	1,132	989	▲143	▲12.7%
電線、ヒータ分野	899	701	▲198	▲22.1%
デバイス分野	298	362	+63	+21.3%
その他分野	▲65	▲73	▲8	－ %

※ 構成比につきましては、その他分野の営業利益（▲7.5%）を除いております。

⑤ 貸借対照表

(百万円)	FY18	FY19 2Q	増減	増減率	増減要因
流動資産	13,292	13,391	+98	+0.7%	流動資産（その他）
現預金、預け金	7,802	7,672	▲129	▲1.7%	売掛債権 +202百万円 棚卸資産 +31百万円 等
その他	5,489	5,718	+228	+4.2%	
固定資産	8,691	8,874	+183	+2.1%	有形、無形固定資産
有形、無形固定資産	5,893	6,172	+278	+4.7%	設備投資 +731百万円 減価償却費 ▲359百万円 除売却 ▲25百万円 その他 ▲67百万円 等
投資その他の資産	2,797	2,702	▲94	▲3.4%	
資産合計	21,984	22,266	+282	+1.3%	
流動負債	4,659	4,549	▲109	▲2.4%	流動負債
固定負債	4,044	3,804	▲239	▲5.9%	仕入債務 ▲133百万円 等
負債合計	8,703	8,354	▲349	▲4.0%	
株主資本	12,659	13,322	+663	+5.2%	株主資本
その他	620	589	▲31	▲5.0%	資本剰余金 +94百万円 利益剰余金 +568百万円 等
純資産合計	13,280	13,912	+631	+4.8%	
負債純資産合計	21,984	22,266	+282	+1.3%	
自己資本比率	57.2%	59.6%	+2.4pt	— %	
Net Cash	5,215	5,144	▲71	▲1.4%	

目次

1. サマリー	P.02
2. 配当金及び業績予想	P.08
3. 参考資料	P.10

⑥ 配当金及び業績予想

- FY19の年間配当金は、60.0円/株と予想（中間配当金 30.0円/株、期末配当金 30.0円/株）
- 通期業績予想は、最近の業績の動向等を踏まえ2019年5月13日に公表しました予想を修正しております。修正後の業績予想につきましては、下表の通りとなります。

配当金（円、銭）	中間	期末	合計	総額（百万円）	配当性向
FY17	20.0	40.0	60.0	407	20.4%
FY18	30.0	30.0	60.0	407	22.0%
FY19（予想）	30.0	30.0	60.0	—	34.0%

業績予想（百万円）	FY18 実績	前回予想 (a)	今回予想 (b)	増減 (b - a)	増減率
売上高	18,786	19,000	16,800	▲2,200	▲11.6%
営業利益	2,113	2,300	1,730	▲570	▲24.8%
経常利益	2,176	2,260	1,720	▲540	▲23.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,851	1,540	1,200	▲340	▲22.1%

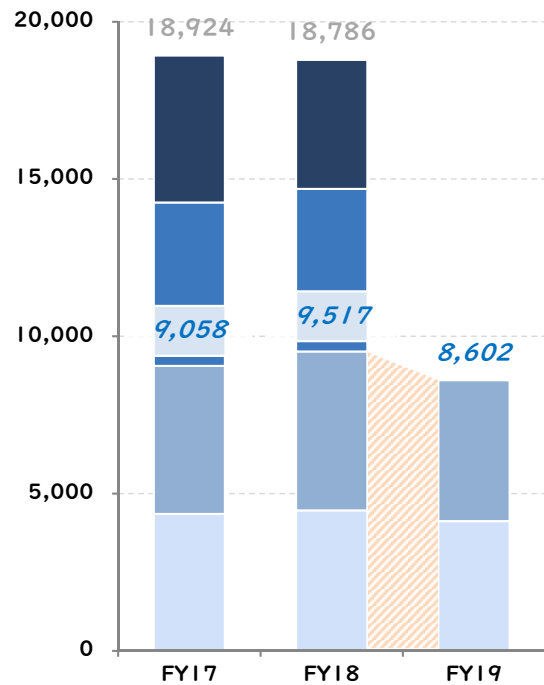
目次

1. サマリー	P.02
2. 配当金及び業績予想	P.08
3. 参考資料	P.10

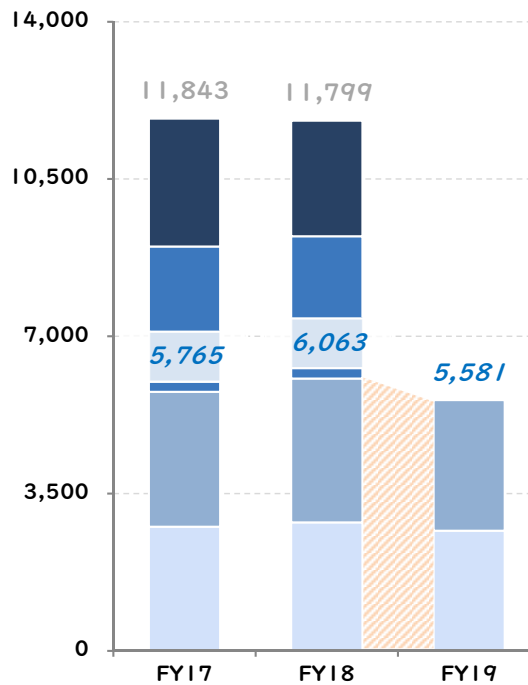
⑦ 売上高（分野別）

- 分野毎の増減要因につきましては、P.03をご参照ください。

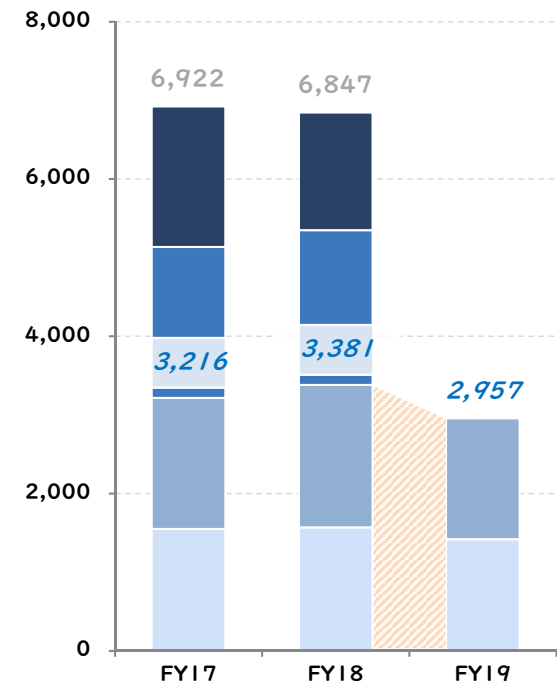
連結 (百万円)



電線、ヒータ分野 (百万円)



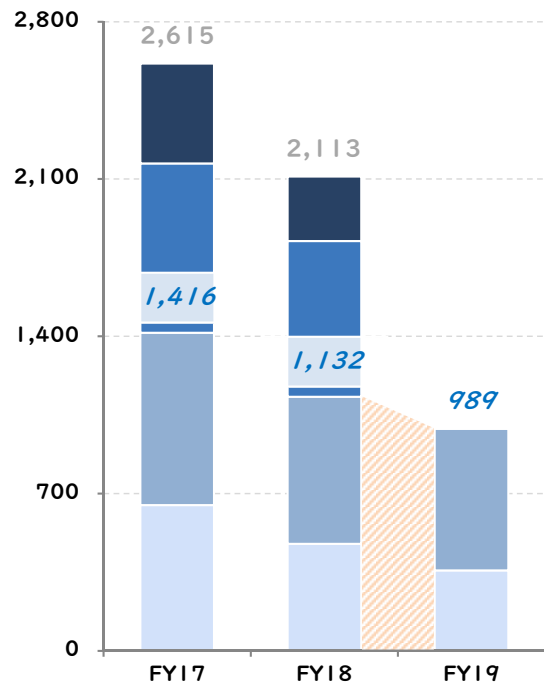
デバイス分野 (百万円)



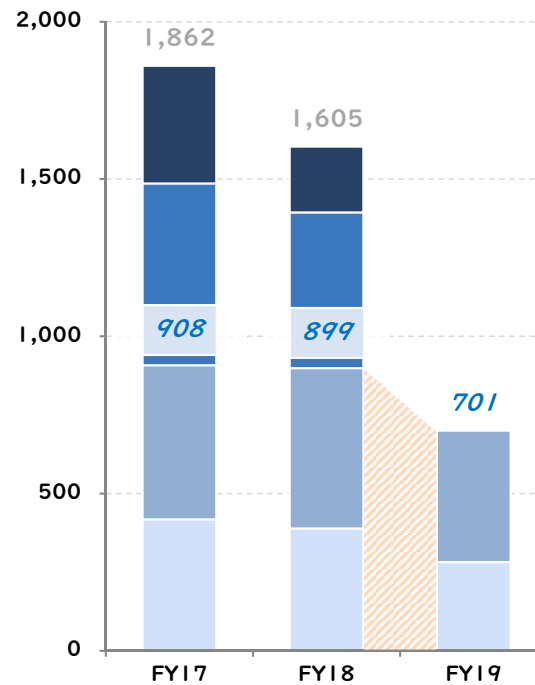
⑧ 営業利益（分野別）

- 分野毎の増減要因につきましては、P.05をご参照ください。

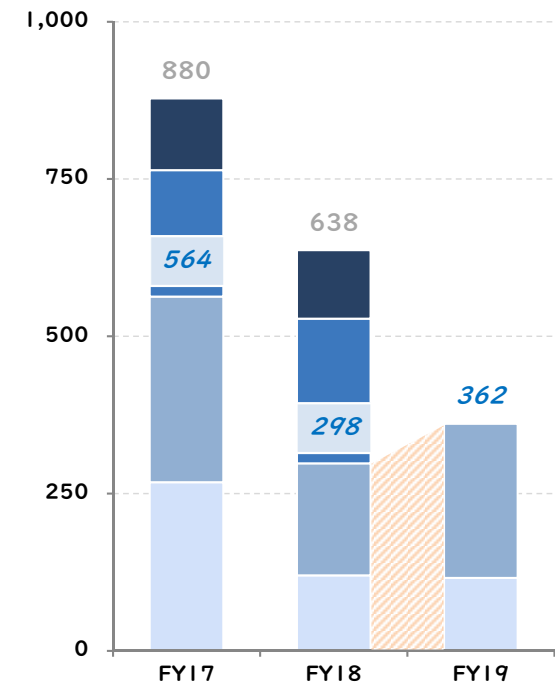
連結 (百万円)



電線、ヒータ分野 (百万円)



デバイス分野 (百万円)

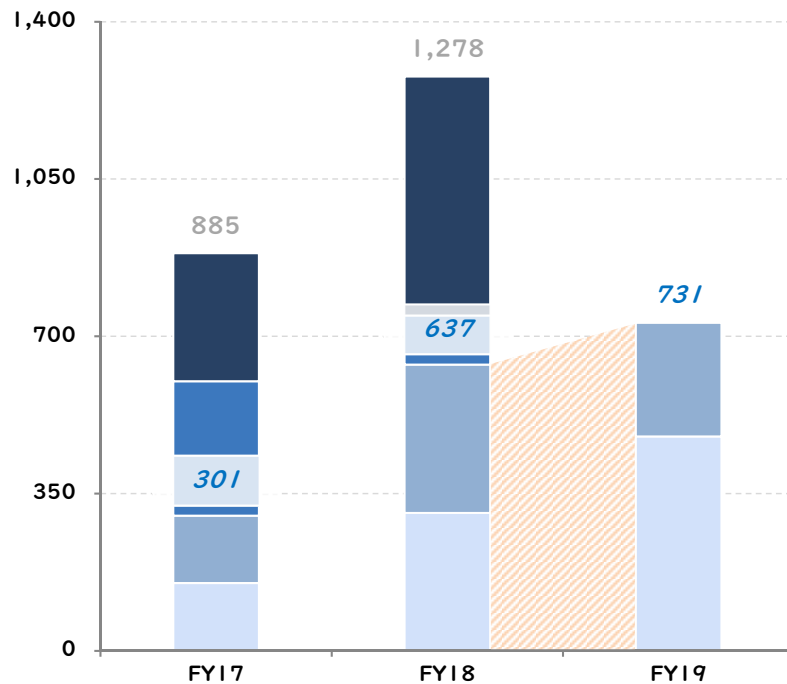


⑨ 設備投資、研究開発費

- ・ 設備投資は主に本体にて電線生産設備及びヒータ生産設備、また、廃液処理施設等の更新に伴う増加となり、前年度期比+93百万円（本体+239百万円、連結子会社▲146百万円）の731百万円となった。
- ・ 減価償却費は前年同期比+45百万円の359百万円となっている。
- ・ 研究開発費については本体にて増加、連結子会社は微減となった結果、前年同期比+4百万円の124百万円となった。

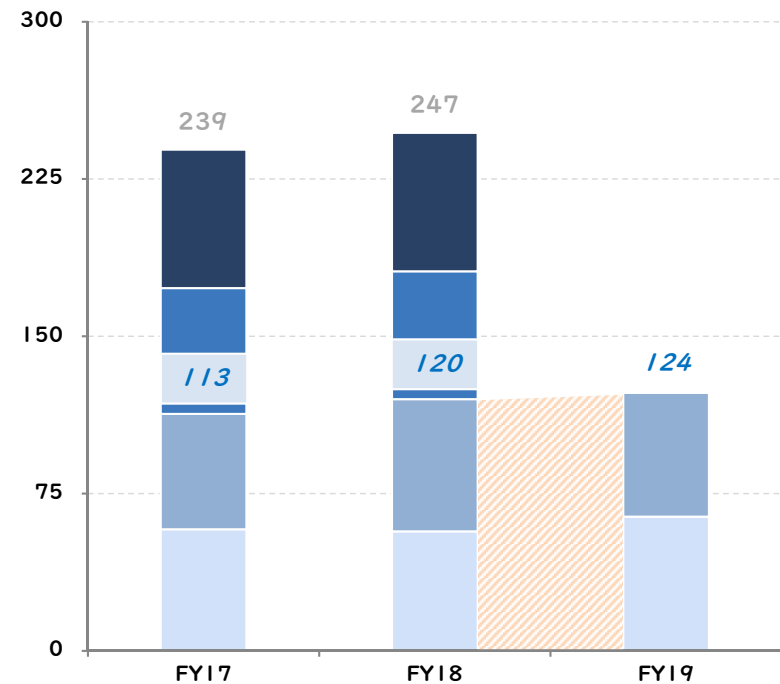
設備投資

(百万円)



研究開発費

(百万円)



将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がございます。